

令和4年第7回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和4年8月8日（金） 場所 第一分庁舎会議室
午後4時～午後5時15分

2 出欠について

教育長 山 瀬 敬
1 番 伊 東 潤一郎
2 番 山 浦 春 美
3 番 片 山 さゆり
4 番 松 本 修 治

3 出席職員

| | | | |
|-----------|---------|-------------|---------|
| 次長兼教育総務課長 | 窪 田 昌 之 | 教育委員会参事 | 森 田 美 幸 |
| 教育総務課長 | 前 田 久 則 | 生涯学習・スポーツ課長 | 山 本 浩 司 |
| こども課長 | 村 崎 博 | 地域協働課長 | 小 林 孝 仁 |
| 図書館長 | 初 道 ゆかり | 学校給食センター所長 | 高 吹 浩 司 |
| 埋没林博物館長 | 石 須 秀 知 | 水族館博物館管理課長 | 池 川 幸 博 |
| 学校教育係長 | 石 崎 有希子 | 総務係長 | 石 崎 薫 |
| 生涯学習・文化係長 | 塩 田 明 弘 | スポーツ係長 | 石 坂 友 宏 |

4 傍聴人 3人

5 会議の要旨

午後4時 山瀬教育長が開会を宣する。

(1) 会議録署名委員の指名について

1 番 伊東委員を指名した。

(2) 前回会議録の承認

全員異議なく承認した。

(3) 議案

議案第28号 令和5年度使用小中学校用教科用図書採択について

石崎学校教育係長から説明し、全員異議なく承認した。

議案第29号 学校給食費に対する物価高騰対策及び地場産食材活用促進事業補助金交付要綱の
制定について

高吹学校給食センター所長から説明し、全員異議なく承認した。

(4) 協議事項

学校規模適正化推進計画について
前田教育総務課長から説明

(5) 報告事項

- ①西部中学校における給食費会計の処理誤りについて
- ②清流小学校隣接地建築等解体工事入札結果について
- ③本江地域交流センターについて

議事

【魚津市就学援助に関する要綱の一部改正について】

| | |
|------|---|
| 窪田局長 | 先月に承認いただいた就学援助に関する要綱の補足説明をいたします。 修学旅行費の支給限度額ですが、かつて市内に在住で市外の学校に通学する対象者の修学旅行費がかなり高額になったことがあったため限度額を設けました。 |
|------|---|

【令和5年度使用小中学校用教科用図書の採択について】

| | |
|--------|--|
| 伊東委員 | 現在の教科書は、小学校は令和2年度から5年度まで、中学校は令和3年度から6年度まで使用するというのでよろしいですか。 |
| 石崎学校係長 | そうです。 |

【学校給食費に対する物価高騰対策及び地場産食材活用促進事業補助金交付要綱の制定について】

| | |
|--------------|---|
| 伊東委員 | 物価高騰対策と地場産食材活用、それぞれ異なるものをなぜ一つの要綱において制定するのですか。 |
| 高吹学校給食センター所長 | この対策は、物価等高騰による負担を軽減し、地場産食材を活用した安全・安心な給食の提供を維持するため、食材の高騰分に対して支援をしようと6月補正において議決されました。 |
| 窪田局長 | 物価高騰対策は今年度限りですが、地場産食材の活用は今後も必要と考えられます。再度、要綱を制定するかどうかを検討します。 |

協議事項

【学校規模適正化推進計画について】

| | |
|----------|--|
| 山浦委員 | 以前から令和5年度には、星の杜小学校が2クラス以上にならないと予想されていた。経田と道下の統合やよつば小と星の杜小の通学区域の変更のほかにも審議する点はありますか。 |
| 前田教育総務課長 | 清流小学校と東部中学校の建物の老朽化についても踏まえながら考える必要があります。また特別支援教室の教室数についても検討が必要となります。 |
| 山浦委員 | 特別支援学級は増えています。清流小学校は特別支援学級の増加により教室が足りなくなることはありますか。 |
| 前田教育総務課長 | 清流小学校は、あまり児童数が減らない見込みとなっています。もしかしら教室が足りなくなるということも想定されます。また、小中学校の規模をどうするの |

| | |
|----------|---|
| | か。部活の地域移行が言われていますが、学校の規模による部活動への影響が大きいと考えています。 |
| 松本委員 | 計画をたてた当時より少子化は早いスピードで進んでいる。 中学校をどうするかを審議会等で考えるべきだと思う。将来のことを考えながら、今の子供達のこともしっかり見ながら考えるべき。子供達のことと保護者や地域の思いとは別問題であるとは思いますが一緒に考えていくべきかなと思っています。 |
| 片山委員 | すぐやるべきことは何になりますか。やるべきことを協議することになりますか。 |
| 前田教育総務課長 | 今は現計画の検証・総括を行います。また、保護者等への統合についてのアンケートを考えていますが、対象児童と保護者だけのアンケートでいいのかということを考えています。 |
| 片山委員 | アンケートは保護者だけでいいと思います。現場の声を拾うことも大事ですが、拾い過ぎてもよくないと思います。 |
| 伊東委員 | 素案ありきでなくていいと思います。好きなことを言ってもらう場が必要では。統合のあり方は 数年先の子ども数で変えるものではなく、例えば「20年先の中学校の数はどうあるべきか。」というあるべき姿の意見を言ってもらえる場があればいいと思います。子供を産む世代などがどのように思っているかということが大事であると思います。 |
| 前田教育総務課長 | たたき台がないと意見が出ないかなと思っています。令和5年度の統合についてのあらたな計画をつくるべきかという議論もあると思います。 |
| 山浦委員 | 学校は安全安心であるべき場所です。経田小学校の耐震化は大丈夫ですか。 |
| 前田教育総務課長 | 全ての学校は耐震化されており安全性は確保しています。清流小学校は、もう数年後に築60年になります。 |
| 教育長 | 学校関係者がどのように思っているか時間をかけて自由な意見を言ってほしいと思っています。よって審議会のスケジュールは柔軟に対応していきます。数十年後の方向性や、魚津の特色ある教育、保護者が期待することを拾い上げていく丁寧な議論を心がけていきたいと考えています。 |
| 山浦委員 | 学校審議会の委員はなぜ10人なのでしょう。中学校の立場の方も委員になる必要があると思います。 |
| 窪田局長 | 魚津市学校教育審議会規則において定められていますが、必要であれば委員の人数等含め見直しを検討したいと思います。 |

議事が終了したので教育長が閉会を宣した。